

平成28年度事業（農業青年組織等活性化事業）
（地域青年農業者等グループ活動活性化助成）

事業主体名 鹿屋農業青年クラブ

1 目的

鹿屋農業青年クラブの活動として、鹿屋市内の消費者に食と農の理解促進を図るため、昨年も実施したピザ焼き体験をブラッシュアップ（地域食材を増やす、より多くの市民にPRする）して実施する。

また、県外地産地消優良事例を視察し、経営の多角化による販売向上や実需者への販売手法のノウハウを学び、クラブ員の資質向上とクラブ活動の活性化を図る。

2 実施状況

（1）視察研修の実施

【活動内容】

（株）ココファーム（卵販売）、物産館卵庵、熊本農人プロジェクト（都市農村交流）、花の果樹園（観光農園、レストラン）、ミヤザキファーム（宝石トマトのブランド化、メロン）など、多様な地産地消の先進事例を学ぶことができた。

【効果】

農産物や消費者ニーズをふまえた優れた加工品の販売は、やり方によっては、経営にプラスになることを知った。「花の果樹園」の経営主は、菊池地方の農業青年クラブ会長を務めており、共感できることが多く、参加したクラブ員にとって大きな励みになった。



花の果樹園視察の様子

（2）ピザ焼き体験の実施

【活動内容】

鹿屋市民に、鹿屋農業青年クラブ活動を広く知ってもらうため、クラブ員の食材をたっぷり使用したピザ焼き体験を（内1回は異業種とコラボ開催）2回実施した。

【効果】

具体的な事業の進行管理や役割分担を何回も打ち合わせて実施。生地から手作りのピザ焼き体験は、クラブ員自らが楽しみながら消費者との交流を図ることができ、自信につながった。



ピザ焼き体験活動の様子

3 今後の課題、取り組み

これらの取組をいろいろな機会に発表し、鹿屋農業青年クラブ活動の良さをPRし、会員増加、クラブ活動の活性化を図りたい。



ピザ焼き体験の様子